



今年の夏は、早くから猛暑続きですね。こんな暑い時には、怪談話やきもだめしは定番の涼み方ですね。推理小説、怪奇小説、妖怪、おばけ……怖い話にもいろいろあります。怖い話を読んで、気分的にも涼しくなってみませんか？（高橋和子）

横溝正史『本陣殺人事件』角川文庫

ご存じ、金田一耕助が活躍する第一作目の推理小説。怪しい人たちが次々と出てくるので誰が犯人なのかと、読者も推理しながら読める本です。舞台は岡山県の真備町、今年の大水害でニュースになった場所です。



小野不由美『悪夢の棲む家 上・下』講談社X文庫

高校生の麻衣のアルバイト先、渋谷サイキックリサーチが手がける怪奇現象が起こる現場の異様さは、思わず周りを確認したくなるほど怖い！ ライトノベルズだからと甘く見てはいけません。

アガサ・クリスティ『オリエント急行殺人事件』角川文庫

名探偵ポアロやミス・マープルで有名なアガサ・クリスティの代表作の一つ。何度も映画化されているので、映像で見たことがある人もいるのでは……。原作もぜひ読んでください。



小説



貴志祐介『悪の教典 上・下』文藝春秋2010

京極夏彦『魍魎の匣』講談社文庫1999

西尾維新『掟上今日子の備忘録』講談社2014

コナン・ドイル『シャーロック・ホームズの冒険』角川文庫2010

伊坂幸太郎『重力ピエロ』新潮文庫2006

絵本

長谷川摂子『めっきらもっきらどおんどん』福音館書店1990

広瀬克也『妖怪温泉』絵本館2014

宮部みゆき『悪い本』岩崎書店2011

レイモンド・ブリックス『風が吹くとき』あすなろ書房1998

いわむらかずお『ひとりぼっちの さいしゅうれっしゃ』偕成社1985

